方針	1	共創のまちづくりの実践
基本的取組	1－1	参加と協働による共創のまちづくりの推進
プラン	1	市民参加と協働の推進
担当課	企画経営課，協働推進課，関係各課	

年度別計画	令和６年度

◆市
◆パ
◆市

年度別計画を記載

参加と協働の実践を重ねるとともに，調布市審議会等の会議の公開に関する条例や，調布市パブリック・コメント手続条例の適切な運用を図ります。また，市民における多様な活動形態や社会状況の

＜ ＰＤＣＡマネジメントサイクルに基づく評価 ＞
年度別計画を基に半期毎の取組計画を明確化し，その進捗状況の確認や，年次評価を行うとともに課題等を把握し，次期や次年度以降の取組の着実な推進及び成果向上につなげるため，ＰＤＣＡマネジメントサイクルの意識強化を図りながら取組を推進しています。

【取

○パ
条例の適切な運用を図るとともに，実践を踏まえた課題整理に基づく
創意工夫や運用改善に継続して取り組みます。
○新入職員等を対象とした職員研修を実施し，参加と協働の実践にお
いて必
○市民
践状況
加・協
○公表
必要な

年度別計画に基づく半期毎の取組計画の明確化

【取組実績及び取組による成果・効果】（ＤＯ・ＣＨＥＣＫ）

○新任職員を対象に「市民参加推進研修」を実施し，新任職員の参加と協働に関する基礎知識の習得を
ることができました。
○新任係長職研修において，「調
説明
し，職
○市民
践状況
た。

成果・効果の明確化

【年度別計画に対する今年度の進捗見込】（ＣＨＥＣＫ）　○

【後期における取組の方向性】（ＡＣＴＩＯＮ）

○市民参加・協働実践状況調査により把握した具体的な成果や課題等を検証し，幅広い市民意見の把握につながる創意工夫や運用改善を踏まえた市民参加と協働の仕組みづくりにつなげていきます。
○市民参加推進研修等の職員研修を実施し，職員の参加と協働に対する知識
○市民
に係る
の実践
なげて
○パブ
条例に
ります。

取組の着実な推進の視点からの後期の取組の方向の明確化

○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例の適切な運用を図ります。
○市民
まえた
検討・
す。

年度別計画に基づく半期毎の取組計画の明確化

【取組実績及び取組による成果・効果】（ＤＯ・ＣＨＥＣＫ）

○市政経営の基本的な考え方である「参加と協働のまちづくり」の推進に向け，市民参加と協働の取組に関する理解の定着を図るとともに，所属部署に関わらず，職員が市民参加を日常業務において身近な取組として捉える機会とすることを目的に，市民参加推進研修を実施し，市
で，市
○パブ
条例に
手続に
から
○市民参加推進協議会を開催し，市民参加における当事者の意見の把握・反映，市民参加の前提となる市政情報の発信・共有化の手法等について協議し，全庁的な取組の方向について整理しました。

成果・効果の明確化

上半期における年度別計画の進捗状況
◎：計画を上回る
○：(概ね)計画どおり
△：遅れる

総　括

【今年度の総括，次年度以降の取組の方向性】
（ＣＨＥＣＫ・ＡＣＴＩＯＮ）

取組実績	Ａ（計画どおりに進捗）

○パブリック・コメント手続条例及び審議会等の会議の公開に関する条例の適切な運用を図るとともに，実践を踏まえた課題整理に基づく
創意
○市民
践状況
加・協
○職員
○市民
る課題
事例を
いきま

今年度における取組の進捗状況に対する評価（評価理由）及び次年度の着実な取組の推進や成果向上の意識を強化